



## 会場を包む、元気な歌声

アゼリアホール

6  
21

童謡みんなで歌いましょうが開催され、懐かしく心むち童謡の調べが会場に響いた。オープニングは、ダンスサークルABEATクラブによる日本舞踊。優雅な舞いに会場が魅了された。続いて、市内の保育所や団体16グループが練習の成果を披露した。



優雅な日本舞踊を披露した「ABEATクラブ」

(上) 元気な歌声で会場を盛り上げた「立戸保育所ハッピーフレンズ」  
(右) 歌う笑顔が素敵なのは「ベビーフレンズ」



「私から見たアメリカの学校制度」  
講師 ノア・マシンスカス(アメリカ出身)

6  
21  
7  
5

## 他国を知ることが、多文化共生への第一歩

総合市民会館(料理教室)・  
ギャラリーおおたけ(講演会)

大竹国際交流協会が、国際料理教室と国際理解講演会を開催。料理教室(6月)には、32人が参加。ローリー・マクナルティさんを講師に、ギネスシチューやコルカノン(ジャガイモ料理)などのアイルランド料理を作りました。

講演会(7月)には42人が参加。ノア・マシンスカスさんが「私から見たアメリカの学校制度」をテーマに講演。祖父に誘われて参加した松本瑞穂さん(19歳)は「アメリカへの親近感が強くなりました」と笑顔で感想を聞かせてくれました。

(右) 常に笑顔で講演したノア講師。会場は和やかな雰囲気にも包まれていた。  
(下) 外国人の先生に、少し緊張しながらも、ニンジンのカットに挑戦中。  
(右下) 「あと少し」。表現は世界共通。



(上) 丁寧に下敷きを作製する大竹高校生徒会のメンバー。

(下) 「大切に使いまわす」と下敷きを受け取った代表の児童たち。

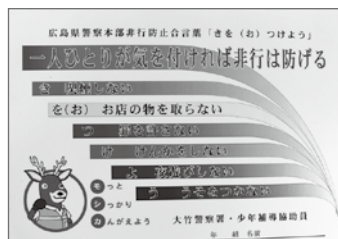


6  
28  
7  
8

## 「きを(o)つけよう」を守って安全で楽しい夏休みに

大竹高校(下敷き作製)・大竹小学校(贈呈式)

大竹高校生徒会、警察署、少年補導員連絡協議会が共同して、非行防止合言葉「きを(o)つけよう」の下敷き800枚を作製し(6月)、児童が安全で楽しい夏休みが送れるよう、市内4小学校4~6年生に配布された。大竹小学校で贈呈式(7月)が行われ、大竹高校生徒会長、警察署長、少年補導員連絡協議会長から児童代表3人に下敷きが手渡された。



(表) きを(o)つけようの標語



(裏) 市制施行60周年記念ロゴマーク